

オンライン・ブリッジ入門講座 プレイ編 第四回
SSC



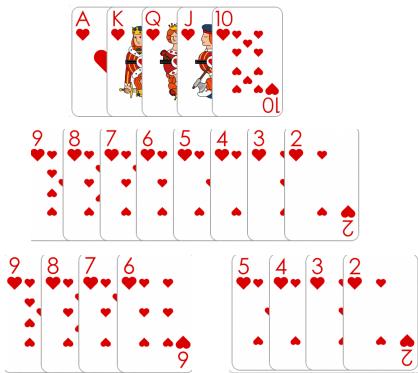
1

今日のテーマ

- ・復習 アナーカードとスポットカード
- ・ディフェンス
- ・シグナル
- ・NTコントラクトにおけるオープンリードと三番手のシグナル
- ・ルールオブ11

2

アナーカードとスポットカード



- ・アナーカードは
- ・Aから10まで
- ・9以下のカードは
- ・スポットカードと呼ばれる
- ・スポットカードの高位は
- ・スポットカードの低位は
- ・絵札と言えばAからJまで

3

ディフェンス

♠K2
♥54
♦J1064
♣AK864
Dummy

N		E
W		S

♠9764
♥AQ10976
♦3
♣97
Declarer

- ・ディクレラーは自分達の26枚のカードを知っている
- ・残りの26枚の内、キーとなる絵札が敵のどちらにあるかを推測すればいい

4

ディフェンス

♠K2
♥54
♦J1064
♣AK864
Dummy

♠9764
♥AQ10976
♦3
♣97

N	W	E	S
---	---	---	---

Declarer

- ・ディクレアラーは自分達の26枚のカードを知っている
- ・残りの26枚の内、キーとなる絵札が敵のどちらにあるかを推測すればいい
- ・ディフェンダーは自分のハンドとダミーの13枚を合わせた26枚は判っている。しかし、抜けているキーとなるカードが敵にあるのか味方が持っているのかは判らない
- ・パートナー同士、持っているカードの情報を交換する
- ・どうやって？カードの出し方で情報を伝える。それがディフェンス

5

カードの出し方をシグナルと呼ぶ

- ・ディフェンダー同士で、信号のやりとりをする
- ・どうやって
- ・スポットカード（9～2）の出し方で
- ・最初上位のスポットカード、次のトリックで低位のスポットカード
 - ・例えば、最初♠8、次に♠2 この出し方を、『ハイロー』と呼ぶ
- ・最初下位のスポットカード、次のトリックで高位のスポットカード
 - ・例えば、最初♠2、次に♠8 この出し方を、『ローハイ』と呼ぶ
- ・まるで手旗信号 

6

シグナルの意味付け

意味付け	枚数	態度の表明
ハイロー	偶数/イーブン	続けて/エンカレッジ
ローハイ	奇数/オッド	続けないで/ディスカレッジ
シグナル名	カウント	アティチュード

7

シグナルの使い方

- ・どのシグナルかは、状況により自ずと決まつてくる
- ・パートナーが絵札をリードした
 - ・自分にも良い絵札あれば、続けて。無ければ続けないで
 - ・アティチュード・シグナル
- ・敵がリードした
 - ・セカンドハンド・ローをプレイする時や、4番手で勝てない時
 - ・カウント・シグナル

8

オープンリード

- ・ブリッジの中で、一番大切かつ、一番難しい
- ・NTとスーツコントラクトでは、やり方が一部異なる
- ・まずオープンリードのスーツを決める
- ・スーツが決まればカードは自ずと決まる
- ・スーツとしては
 - ・パートナーがビッドしていれば、パートナースーツ
 - ・敵がビッドしていないアンビッドスーツ
 - ・もちろん、自分の強いスーツもオープンリードの候補

9

NTコントラクトにおける オープンリードと三番手のシグナル

10

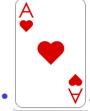
NTコントラクトでのオープンリードの種類

- ・Aのオープンリード
- ・完全シーケンスは頭から
- ・ブローケンシーケンスも頭から
- ・インテリアシーケンスは2枚目から
- ・4thベスト
- ・絵札サード
- ・トップオブナッシング
- ・ダブルトンは上から

11

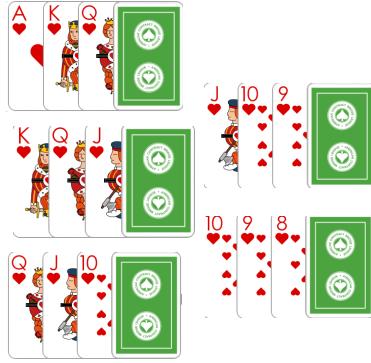
Aのオープンリード



- ・Aを含むアナー4枚は強力
- ・ をオープンリード
- ・パートナーはアナーを持っていればアンブロックの為にドロップ（捨てる）
- ・持っていないければカウントシグナル

12

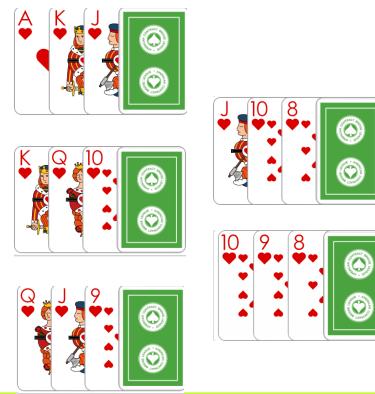
完全シーケンスは頭から



- ・3枚以上の連続したカードを、『完全シーケンス』と呼ぶ
- ・ナーが頭の完全シーケンスで、4枚以上のスーツからはトップをリードする
- ・は、1枚以上のナー以外の任意のカード

13

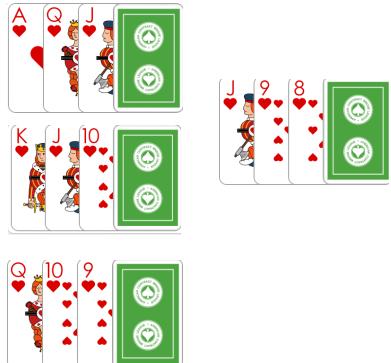
ブロークンシーケンスも頭から



- ・三枚目が一つ飛んで連続しているシーケンス『ブロークン・シーケンス』と呼ぶ
- ・ナーが先頭の、ブロークン・シーケンスを含む4枚以上のスーツからも、トップをリードする

14

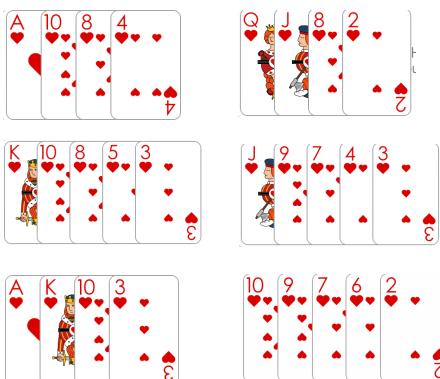
インテリアシーケンスは2枚目から



- ・二枚目が抜けた穴あきシーケンスを『インテリア・シーケンス』という
- ・絵札が先頭の、インテリア・シーケンスを含んだ4枚以上のスーツは、上から二枚目のシーケンスのトップをリードする
- ・三番手のパートナーにとって、インテリア・シーケンスからのリードである事は判らないかもしれない

15

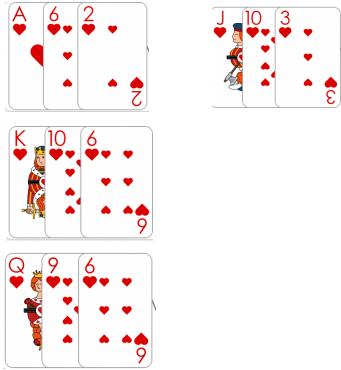
絵札があれば4番目の4thベスト



- ・絵札が1~2枚ある、4枚以上の、そこそこ強くて長いスーツはスーツの4番目のカードをリードする
- ・『4thベスト』と呼ぶ
- ・10、9が頭の5枚以上も4thベスト

16

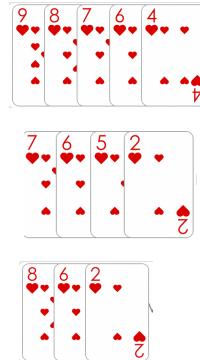
絵札サード



- ・絵札1枚のみの3枚は、下から
- ・絵札サード言う
- ・Jxxはなるべく避ける

17

トップオブナッシング



- ・アナーの無い、スポットカードだけの長いスーツは頭から
- ・5枚の頭から
- ・4枚も頭から
- ・3枚でも頭から

18

ダブルトンは上から



- ・2枚は上から
- ・絵札があっても2枚は上から
- ・例外は、AKダブルトンは。これはKから

19

オープンリード練習 (NT)

	どこから	リード	理由
①	♠ AJ763	♠ 6	4thベスト
②	♠ KQJ74	♠ K	完全シーケンスの4枚以上はトップから
③	♠ KQ1074	♠ K	ブローカンシーケンスの4枚以上はトップから
④	♠ KQ743	♠ 4	2枚シーケンスは4thベスト
⑤	♠ 98742	♠ 9	トップオブナッシングで上から
⑥	♠ 7642	♠ 7	トップオブナッシングで上から

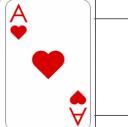
20

三番手のプレイ (NT)

- ・オープンリードによって、3番手のプレイは決まる
- ①オープンリードがAの時
 - ・アナーのドロップか、アナーが無ければカウント・シグナル
- ②オープンリードが絵札の時
 - ・隣接アナーの有無を知らせる、アティチュード・シグナル
- ③オープンリードがスポットカードの時
 - ・サードハンドハイ
 - ・もちろん、ダミーのカード出方によって影響を受ける

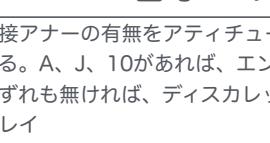
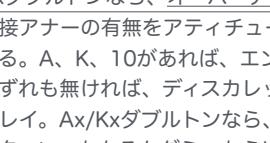
21

①オープンリードがAの時

OL	持っているはずのカード	三番手のプレイ
	 の内の3枚以上	左の3種類の区別は通常できない アナーがあればドロップ 無ければカウントシグナル アナー2枚 (J10/Q10)あれば下 の2ケースだと判るがプレイは同 じ (10/Qのドロップ)

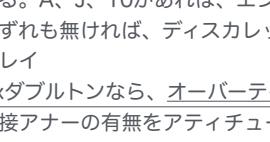
22

②オープンリードが絵札の時

OL	持っているはずのカード	隣接アナー	三番手のプレイ
			隣接アナーの有無をアティチュード・シグナルで知ら せる。A、J、10があれば、エンカレッジでハイ いずれも無ければ、ディスカレッジでローのカードを プレイ Axダブルトンなら、オーバーテイクしてリターン
			隣接アナーの有無をアティチュード・シグナルで知ら せる。A、K、10があれば、エンカレッジでハイ いずれも無ければ、ディスカレッジでローのカードを プレイ。Ax/Kxダブルトンなら、オーバーテイクして勝てれば リターン。もちろんダミーからKならAがあれば勝つ

23

②オープンリードが絵札の時その2

OL	持っているはずのカード	隣接アナー	三番手のプレイ
			隣接アナーの有無をアティチュード・シグナルで知ら せる。A、K、Qがあれば、エンカレッジでハイ いずれも無ければ、ディスカレッジでローのカードをプレ イ。Ax/Kxダブルトンなら、オーバーテイクして勝てれば リターン。ダミーから絵札が出ればカバーできればカバー する

24

③オープソリードがスポットカードの時

- ・スポットカードが低位であれば4thベストの可能性大。パートナーは絵札を1枚はもっている。例外は、109xxxからの4thベストで、J相当の109しかない
- ・三番手は、一番高位の絵札をプレイする。絵札が無ければ一番高位のスポットカードをプレイするのが原則。これを『サードハンドハイ』と呼ぶ
- ・例外は2枚以上のアナーシーケンスであれば下からプレイ。但し、勝てそうな時
- ・ダミーのプレイしたカードに勝てない時
 - ・A/Kに勝てない場合は、アティチュード・シグナルで、絵札の有無を知らせる
 - ・Q以下に勝てない場合は、カウント・シグナルで、枚数を知らせる

25

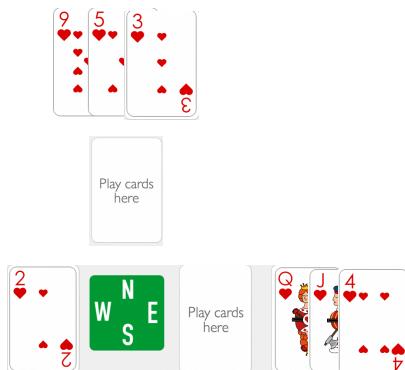
③オープソリードがスポットカードの時（続き）

- ・高位のスポットカードのオープソリードなら、トップオブナッシングでパートナーはナーを持っていない
- ・三番手は、やはりサードハンドハイ。低位のスポットカードのプレイと同じ
- ・オープソリードより高位のカードが無い時は、カウントシグナルで枚数を知らせる

26

アナーシーケンスは下から

サードハンドハイのプレイ

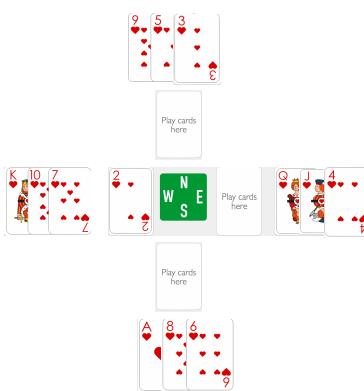


- ・♥2のオープソリード
- ・ダミーから♥3
- ・三番手は、サードハンド・ハイ
- ・2枚以上のシーケンスはシーケンスの下のカード♥Jからプレイ
- ・そのすぐ下のカードは持っていない
- ・そのすぐ上のカードはもっているかもしれない

27

アナーシーケンスは下から（続き）

サードハンドハイのプレイ

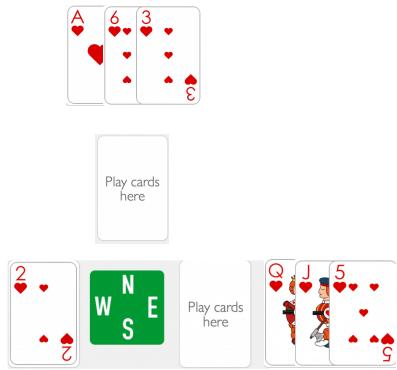


- ・トリック1 ♥2, 3, J, A
- ・これを見てWは、♥QがEにあることが判る
- ・何故なら、Sにあれば、♥Aではなく、♥Qで勝っているだろうから
- ・Eから♥Jではなく、♥Qが出てきたら

28

ダミーのA/Kに負ける時

サードハンドハイのプレイ

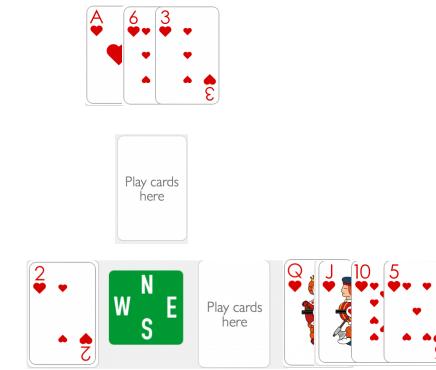


- ♥2のOLに、ダミーから「A」が出てきた
- 三番手は勝てないが、継続可を示すアティチュードのエンカレッジ=ハイローが必要
- このケースは「J5」の「J」ではなく、「QJ」アナーシーケンスの上「Q」からプレイして、「J」がある事を示す
- 「Q5」なら「5」から。「Q85」なら「8」からプレイする。まれに「Q」シングルトンの「Q」も起こりうる

29

ダミーのA/Kに負ける時 (その2)

サードハンドハイのプレイ

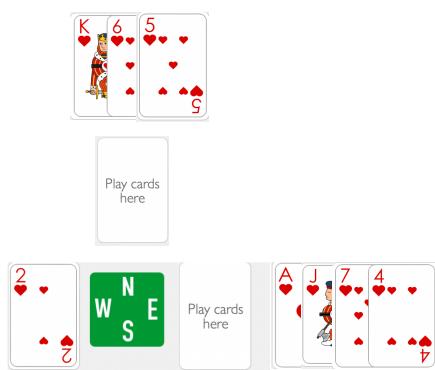


- ♥2のOLに、ダミーから「A」が出てきた
- 三番手は勝てないが、継続可を示すアティチュードのエンカレッジ=ハイローが必要
- 通常なら、アティチュード・シグナルで「10」のプレイだが
- 3枚以上の完全シーケンスの場合は一番上の「Q」をプレイ。Jの保証を示す
- Wが「K」をリードした時に、シーケンス下端「10」をプレイして「QJ10」だったことを伝える

30

サードハンドハイの例外

サードハンドハイのプレイ

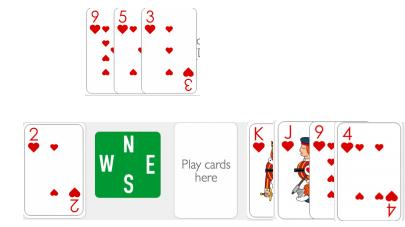


- ♥2のOLに、ダミーに「K」があるので、ロードの「5」が出てた
- 三番手は、ダミーの絵札「K」の上の「A」を持っており、さらに9以上がある。その時は、カバーできる絵札を温存し、9以上のカードをプレイする
- このケースは「J」があるので「J」をプレイする

31

三番手が勝った時のリターン

サードハンドハイのプレイ

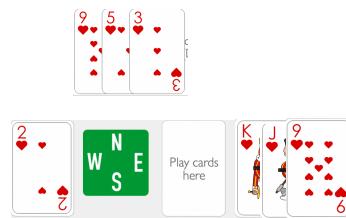


- ♥Kを出したら勝った
- リターンするのは元々の4枚目の♥4
- オリジナル4thベストという
- OLは勝てなかつたが、別のスーツでコントロールを得た時に、同じカードをリードする

32

三番手が勝った時のリターン（その2）

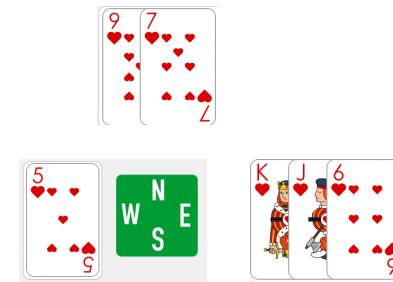
カードハンドハイのプレイ



- ♥Kを出したら勝った
- リターンするのは残り2枚の上から♥J
- 元々の2枚目
- 元々4枚は無かった事を伝える
- OLは勝てなかったが、別のスーツでコントロールを得た時に、同じカードをリードする

33

ルールオブ11

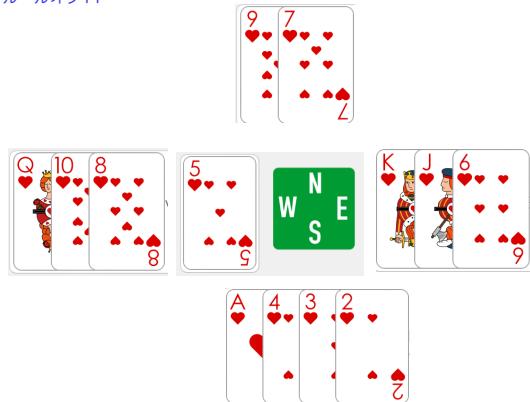


- あなたはE。Wからオープンリードは♥5
- ルールオブ11を適用して、11-5（オープンリードの数字）=6
- N, E, Sにある5より大きいカードの枚数は合計6枚
- Nに2枚、Eに3枚なので、Sには5より大きいカードは、1枚！しかることが判ります

34

ルールオブ11の秘密

ルールオブ11



- ♥5より大きいカードの枚数は
- 13枚-♥5+「Aの1枚」=9枚
- ♥5は4thベストなので、Wの♥5より大きい♥の枚数「3」を引くと 9-3=6枚
- 6枚が、W以外のN, E, Sが持っている♥5より大きいカードの枚数
- OLのカードの数字をXとするとN, E, Sが持っている、Xより大きいカードの枚数Yは
- $Y = 13 - X + 1 - 3 = 11 - X = 6$

35

NTコントラクトに対するオープンリード（まとめ）

優先度	スーツの選択	カードの選択	例
	Aを含むナー4枚あるスーツ	Aから	AKQ10はAから
	パートナーがビッドしたスーツ、特にオーバーコールしたスーツ	リードの仕方に従う	-
アナーシーケンス	アナー3枚の完全シーケンスを含む4枚以上	トップから	AKQ7はAから
	アナーのブローカンシーケンスを含む4枚以上		KQ106はKから
	アナーのインテリアシーケンスを含む4枚以上	シーケンスの頭から	KJ107はJから
強くて長いスーツ 絵札とクズ2枚の3枚	フォースベスト		AK64は4から
	絵札カード		K83は3から
	アナーの無いスポットカード（3枚以上）	トップオブナッシング	985は9から 87654は8から

36

三番手のプレイまとめ (NT)

パートナーがオープンリード

OL	プレイ	シグナルの意味
A K Q J	アンブロック カウント	ハイロー偶数 ローハイ奇数
K Q J	アティチュード	ハイロー隣接アナー有り ローハイ隣接アナー無し
Q J	同上	同上
J	同上	同上

37

三番手のプレイまとめ (NT) 続き

三番手のプレイ

OL	プレイ	シグナルの意味
	サードハンドハイ アナーシーケンスは下から	—
スポット カード	ダミーのA/Kに勝てない時 アティチュード	ハイロー・エンカレッジ アナーシーケンスは上から ローハイディスカレッジ
	ダミーのQ以下に勝てない時 カウント	ハイロー偶数 ローハイ奇数

38

ホームワーク

- 「入門第4回オープンリード宿題.pdf」の問題をやってみる。正解もその中にあります
- Shark Bridgeアプリを起動して、「入門第4回シグナル実習.pbn」をやってみる
- Pre-Set Playをチェックして、Westに着席
- 正解は、Google Drive 第4回「入門第4回シグナル実習.pdf」にあるので確認して下さい
- 一部、ロボットが正解通りのビッドをしない場面がありますので注意して下さい
- 次に、同じ問題をEastに着席してやってみる

39

ブリッジ・オンライン入門講座 プレイ編 SSC
第四回ディフェンス 前半 完



第四回ディフェンス 後半へ

2024/08/02 ブリッジ塾シャーク

40